

川柳 photo コンテスト 2025

大賞 鈴木 克哉氏（すずき かつや）

作者名 撮影場所:神奈川県 走水海岸



田久保委員長： 東京湾から富士山を撮影するのは房総半島側が定番ですが、この作品は珍しく三浦半島の東海岸(走水)から夕景の富士山をとらえています。打ち上げられた海藻、名産の海苔やワカメ等を採取する小型漁船を一つの画面の中に収めたアングルで東京湾を一挙に象徴。茜色の雲の美しさも含め、バランスの良い画面構成で美しい東京湾を表現しています。

寺元委員： 横須賀市走水から望む夕日と富士山は知る人ぞ知るレアなポイントです。

走水の波打ち際から富士山を望むマジックアワー。

夕凧と空を紫に染めるグラデーションが実に美しく、まるで波の音が聞こえてくるような臨場感漂います。

芝原委員： 鮮やかな夕焼けが富士と空、海を染め、撮影者が広がる色の変化を楽しんでいる様子がうかがえます。また、砂浜に海藻が流れ着き、小舟も浮かび、東京湾とともに人が暮らしていることもうまく表現されています。

秀作 村上 勝治氏（むらかみ かつじ）

作者名 撮影場所：浦安市 舞浜



田久保委員長： 東京湾を代表する鳥、ユリカモメをシルエットにした夕景。背後に東京ゲートブリッジ。東京湾に生息する生き物と、怪獣を想起する巨大で無機質な人工物との対比。大都市「東京」を抱える東京湾でしか遭遇できない光景を捉えた秀作です。

寺元委員： 黄昏色に染まる東京ゲートブリッジを背景に、ウミネコのシルエットとのコントラストが対照的に、ロマンを感じさせてくれる作品です。

芝原委員： 舞浜から西を望み、特徴的な形状の東京ゲートブリッジと夕陽を背景に、ユリカモメ1羽がたそがれている様子が穏やかな表情の東京湾を表していて魅力的です。

佳作 指田 丈二 氏（さしだ じょうじ）

作者名 撮影場所：東京都港区台場 フジテレビ球体展望室



田久保委員長： お題は「七色の橋」。ご存じレインボーブリッジを、その名の通りレインボーにライトアップされた光景を美しくとらえた作品です。右奥に見える東京タワーとビル街、水面に写り込む光の演出。安定感のある構図と色彩が魅力的な作品です。

寺元委員： 大都会の喧騒を心穏やかにさせてくれる、東京湾最北の水面にレインボーブリッジの灯り。昭和と平成の象徴が織りなす作品です。

芝原委員： ライトアップされたレインボーブリッジとビル群の夜景がとても美しく、都市化した東京湾をうまくとらえています。なお、手前のお台場の島には、サギやカワウが生息し、海浜公園では海苔養殖の体験も行われており、光と暗闇は都市と自然の共生も象徴しています。

佳作 角井 理恵氏（つのい りえ）

作者名 撮影場所: 館山 原岡栈橋



田久保委員長： 富士山に向かって延びる一本の長い栈橋。よく見ると多くの人々が栈橋の先端から富士山を眺めているようです。木製の橋の上に古めかしい外灯が連なる風景にノスタルジックさを感じます。富士山を見る絶好の景色は、江戸時代から変わらぬことを想起させる作品です。

寺元委員： 夕日映えスポットとして人気の原岡栈橋ですが、日中の作品は珍しいですね。素朴な栈橋が富士山に向かって伸び、その先に映る富士山のシルエット、青い海と空。懐かしい夏の日を想像させてくれる作品です。

芝原委員： 東京湾外湾に向けて真っ直ぐ伸びる栈橋。海を渡って富士山に辿り着けそうですね。富士も見えれば、先へ先へと行ってみたいくなります。そんな人々の気持ちや行動をうまくとらえています。